

令和5年度授業改善推進プラン 教科名 社 会

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の用語や要点を使ってまとめ作業に取り組む姿勢に個人差が大きい。 ・資料・グラフの読み取り及び記述に関して、不得意意識が先行している。 ・全体として、基礎・基本知識の定着が特に弱い。 ・言語活動の充実に計画的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業冒頭に生徒同士で前時の復習を行なう。定期的に時事問題に触れ、新聞やニュースなどへ興味・関心を喚起させ、学習意欲を高める。 ○演習の時間を設定し、資料・グラフの読み取り方について指導する場面を設ける。 ○振り返りプリントを作り、授業の要点や調べ学習などを通して、表現・創意工夫する力を伸ばすために、提出・点検活動の繰り返し。 ○ワークやノートの記入内容の工夫と点検活動の繰り返し。 ・資料やグラフの読み取りの機会を積極的に設け、自分の言葉でまとめる作業を取り入れる。 ・長期休業を利用した補習授業や復習課題を課し、既習単元の定着を図る。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・規律を保つ必要があり、場に応じて指導が必要である。 ・発表などの言語活動は、一部の生徒に留まる。全体的に既習事項の定着が不十分である。 ・発表の仕方等を含め、言語活動については指導上の課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味関心を高められるよう、授業の導入は時事に関することや、前時の確認をする。 ○ICT機器など視聴覚教材を活用し、授業での展開に工夫する。板書は精選し、生徒の思考を引き出すよう発問を工夫する。 ○発問に対し、適宜グループ学習を取り入れ、思考の共有や相互理解の場とし、発表を通じて既習事項を生かした思考や表現力の向上を図る。 ○毎時間の授業で地図や資料集を積極的に活用し、調べ学習に意欲的に取り組むようにする。 ○ふりかえりプリントやノート作り、調べ学習などを通して、表現・創意工夫する力を伸ばすために、提出・点検活動を強化する。 ○長期休業中に日本の自然をまとめる機会を設け、空間的相互依存作用、地域に着目し、基礎学力の定着を図る。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に、既習事項の定着が十分とは言えない。 ・思考を発表に結びつける指導が定着しておらず、議論の深まりは不十分である。 ・根拠を示したり、既習事項を生かしたりする言語活動の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入に時事問題を発表させ、新聞やニュースなどへ興味・関心を喚起させ、単元につなげる指導を継続する。 ○演習を単元に応じて都度設定し、発表したり議論したりする場を数多く行い、指導を重ねる。 ○ワークシート等で思考を記す機会を設定したり、まとめとして学習の振り返りを記させたりすることで、言語活動を充実させる。 ○言語活動では、既習事項を生かしたり、理由・根拠を明確にした発表や議論を行ったりすることで、多面的・多角的な思考を育成する。

○はすぐに取り組むこと